

社会の中の神経学 1



NS-01 5月20日(水) 9:50~11:50 第3会場(朱鷺メッセ 2階 201)

研究倫理と臨床研究：何が社会から求められているか？

座長：大生 定義 (立教大学 社会学部社会学科)

森豊 隆志 (東京大学医学部附属病院 早期・探索開発推進室)

NS-01-1 臨床研究の「利益」とは何か：研究倫理への新たなアプローチ

演者：田代 志門 (昭和大学研究推進室)

NS-01-2 臨床研究と新たな統合倫理指針の意義

演者：渡邊 裕司 (浜松医科大学臨床薬理学講座)

NS-01-3 臨床研究における利益相反の管理と信頼性確保

演者：荒川 義弘 (東京大学医学部附属病院臨床研究支援センター)

NS-01-4 臨床研究者の教育

演者：松井 健志 (国立循環器病研究センター医学倫理研究室)

社会の中の神経学 2



NS-02 5月20日(水) 9:50~11:50 第13会場(ホテル日航新潟 4階 朱鷺B)

中毒性神経疾患の診方

座長：玉岡 晃 (筑波大学病院 医学医療系神経内科)

福武 敏夫 (亀田メディカルセンター 神経内科)

NS-02-1 有機ヒ素中毒(ジフェニルアルシン酸)による成人健康被害

演者：石井 一弘 (筑波大学 医学医療系 神経内科学)

NS-02-2 有機ヒ素中毒による小児健康被害

演者：岩崎 信明 (茨城県立医療大学保健医療学部医科学センター 小児科)

NS-02-3 "スギヒラタケ"脳症の臨床

演者：桑原 武夫 (上武呼吸器科内科病院 神経内科)

NS-02-4 マンガン中毒の臨床：職業歴とMRI所見から早期診断をしよう

演者：福武 敏夫 (亀田メディカルセンター 神経内科)

NS-02-5 有機溶剤による神経障害

演者：松岡 雅人 (東京女子医科大学医学部 衛生学公衆衛生学 (一))

社会の中の神経学 3



NS-03 5月20日(水) 13:15~15:15 第3会場(朱鷺メッセ 2階 201)

Patient safetyを目指して～徘徊と転倒の問題を考える～

座長：饗場 郁子 (東名古屋病院 神経内科)

青木 菫子 (新潟大学医学部保健学科)

NS-03-1 地域診療所認知症外来患者の徘徊について

演者：川瀬 康裕 (川瀬神経内科クリニック)

NS-03-2 認知症関連の徘徊を法的視点で考える

演者：大平 雅之 (水戸赤十字病院 神経内科)

NS-03-3 認知症高齢者の転倒予防

演者：鈴木みずえ (浜松医科大学地域看護学講座)

NS-03-4 神経疾患患者における転倒予防
演者：饗場 郁子（東名古屋病院 神経内科）

社会の中の神経学 4

公募 日

NS-04 5月21日（木） 8：00～10：00 第3会場（朱鷺メッセ 2階 201）

神経難病診療における自己決定支援

座長：小森 哲夫（国立病院機構箱根病院 神経筋・難病医療センター）
菊地 誠志（北海道医療センター 神経内科）

NS-04-1 医師のコミュニケーション研修:患者の自己決定支援を支える対話のために
演者：安藤 哲朗（安城更生病院 神経内科）

NS-04-2 人工呼吸と自己決定支援
演者：浅井 篤（東北大学大学院医学系研究科 医療倫理学分野）

NS-04-3 難病緩和ケアと自己決定支援
演者：荻野美恵子（北里大学医学部附属新世紀医療開発センター横断的医療領域開発部門包括
ケア全人医療学）

NS-04-4 ALS患者遺族の調査
演者：田中恵美子（東京家政大学人文学部教育福祉学科）

社会の中の神経学 5

公募 日

NS-05 5月21日（木） 15：10～16：50 第10会場（朱鷺メッセ 1階 展示ホールB-2）

神経疾患と自動車運転

座長：下畑 享良（新潟大学脳研究所 神経内科）
原 英夫（佐賀大学病院 神経内科）

NS-05-1 運転可否判断のエビデンス
演者：堀川 悦夫（佐賀大学医学部認知神経心理学分野／佐賀大学附属病院動作解析・移動支
援開発センター）

NS-05-2 睡眠障害と自動車運転
演者：井上 雄一（東京医科大学 睡眠学講座／医療法人社団絹和会 睡眠総合ケアクリニッ
ク代々木／公益財団法人神経研究所）

NS-05-3 てんかんと自動車運転
演者：松浦 雅人（東京医科歯科大学／田崎病院）

NS-05-4 パーキンソン病と自動車運転
演者：荒木 信夫（埼玉医科大学病院 神経内科）

NS-05-5 神経疾患と自動車運転 一現行法の解釈と医療現場での対応について一
演者：一杉 正仁（滋賀医科大学社会医学講座法医学部門）

社会の中の神経学 6

公募 日

NS-06 5月21日(木) 15:10~16:50 第3会場(朱鷺メッセ 2階 201)

新しい難病基本法のもと、地域での神経難病医療への現実的な対応を探る

座長：成田 有吾(三重大学 看護学科)

沼沢 祥行(東京医科歯科大学大学院 脳神経病態学分野/医療法人財団千葉健愛会あおぞら診療所)

NS-06-1 在宅医療と病院医療をつなぐ～神経内科を専門としない在宅医の視点で～

演者：山中 賢治(笹川内科胃腸科クリニック)

NS-06-2 在宅神経難病患者に対するICTを利用した多施設・多職種連携と遠隔コミュニケーション

演者：中村 昭則(信州大学病院 難病診療センター)

NS-06-3 医師、メディカルスタッフ、患者及び家族との連携：コーディネーター看護師の立場から

演者：蛸島八重子(北海道難病医療ネットワーク連絡協議会)

NS-06-4 神経内科医は保健所保健師と如何に協働するか

演者：小森 哲夫(国立病院機構箱根病院 神経筋・難病医療センター)

社会の中の神経学 7

公募 日

NS-07 5月21日(木) 15:10~16:50 第14会場(ホテル日航新潟 30階 鳳凰)

スポーツ神経学 —神経内科医の役割—

座長：吉井 文均(東海大学 神経内科)

清水 輝夫(帝京大学医療技術学部スポーツ医療学科)

NS-07-1 スポーツ神経学のめざすもの

演者：吉井 文均(東海大学 神経内科)

NS-07-2 スポーツ運動と神経内科疾患

演者：阿部 康二(岡山大学病院 神経内科)

NS-07-3 てんかん患者のスポーツ参加への安全性

演者：辻 貞俊(国際医療福祉大学 福岡保健医療学部医学検査学科)

NS-07-4 運動による神経疾患の発症・進行予防

—エビデンスをふまえて—

演者：原 元彦(埼玉県立大学 保健医療福祉学部)

社会の中の神経学 8

公募 日

NS-08 5月22日(金) 8:00~10:00 第3会場(朱鷺メッセ 2階 201)

大規模災害後の神経疾患と神経内科医の果たす役割

座長：寺山 靖夫(岩手医科大学内科学講座 神経内科・老年科分野)

古川 勝敏(東北大学加齢医学研究所 老年医学分野)

NS-08-1 東日本大震災後の認知症患者の状況

演者：石木 愛子(東北大学加齢医学研究所老年医学分野)

NS-08-2 東日本大震災後の脳血管障害の発生状況

演者：大間々真一(岩手医科大学医学部 救急医学講座)

NS-08-3 東日本大震災後のてんかんの発症状況

演者：柴原 一陽(仙台医療センター脳神経外科/気仙沼市立病院脳神経外科)

- NS-08-4 震災後の岩手県における神経疾患の動向
演者：寺山 靖夫（岩手医科大学内科学講座 神経内科・老年科分野）

社会の中の神経学 9

公募 日

NS-09 5月22日（金） 13：30～15：30 第3会場（朱鷺メッセ 2階 201）

[パネルディスカッション] 日常診療における倫理

座長：板井孝彦（宮崎大学医学部医学科社会医学講座 生命・医療倫理学分野）

西澤 正豊（新潟大学脳研究所臨床神経科学部門神経内科学分野）

- NS-09-1 てんかんと運転
パネリスト：寺田 清人（（NHO）静岡てんかん・神経医療センター）

- NS-09-2 認知症における治療の決定
パネリスト：箕岡 真子（箕岡医院）

- NS-09-3 CJDの告知
パネリスト：下畑 享良（新潟大学脳研究所 神経内科）

- NS-09-4 人工呼吸器療法の中絶
パネリスト：板井孝彦（宮崎大学医学部医学科社会医学講座 生命・医療倫理学分野）

社会の中の神経学 10

公募 日

5月23日（土） 8：00～10：00 第3会場（朱鷺メッセ 2階 201）

NS-10 共催：日本てんかん学会

はたらく人とてんかん

座長：赤松 直樹（国際医療福祉大学 福岡保健医療学部）

寺田 清人（NHO 静岡てんかん・神経医療センター 神経内科）

- NS-10-1 てんかんをもつ人の就労・就職の問題点について
演者：谷口 豪（東京大学医学部附属病院 精神神経科／国立精神・神経医療研究センター病院 精神科）

- NS-10-2 てんかんと共に成長する患者の教育について
演者：柿坂 庸介（東北大学医学系研究科てんかん学分野）

- NS-10-3 「はたらく人」のてんかんに対する治療。治療目標をどのように設定するか？
演者：三枝 隆博（天津赤十字病院 神経内科）

- NS-10-4 てんかんのある「はたらく人」の職域における対応と支援
演者：山野 光彦（東海大学医学部内科学系神経内科）